

脳卒中と 心臓病の いい病院

最新治療に挑む
名医たち

脳梗塞/くも膜下出血/心臓病/不整脈

あなたの血管は大丈夫?

血管老化度チェック

最新テクノロジー
リハビリロボット/3Dプリンター/人工知能(AI)



手術数
都道府県別
ランキング
2144病院

切開を抑えられる先端治療で大動脈瘤の破裂を防ぐ 大動脈瘤の低侵襲治療 ステントグラフト内挿術

らを参考にしてもよいでしょう。

近年では、例えば診断の結果可能であればステントグラフト内挿術を行い、広範囲の大動脈瘤に対しては外科手術を行う、といったいわゆるハイブリッド手術を行う施設も出てきました。また、大動脈瘤の状態をみるために必要な精度の高い検査を、衛生管理された手術室の中で行える設備を整えた施設などもあります。こうした施設が増えることで、より患者一人ひとりに合った治療を選択できるようになっていくでしょう。

文/平田由紀

朝日新聞出版 週刊朝日MOOK 「血管を強くして突然死を防ぐ! 脳卒中と心臓病のいい病院」

自覚症状がなく 健診で見つけにくい大動脈瘤

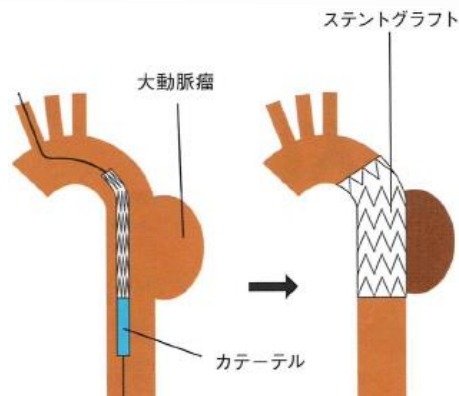
心臓から全身に血液を送る動脈の中で最も太い動脈を大動脈と呼びます。この大動脈の壁の一部がこぶ状に膨らむ症状を大動脈瘤といいます。大動脈瘤は主に胸部と腹部に大別されます。大動脈瘤の多くは破裂しない限りは症状はありません。しかし、膨らんだ大動脈瘤が周囲の組織を圧迫して、胸部なら咳や胸、背中の痛みが、腹部なら腰痛や腹痛などが現れることがあります。万が一破裂すると出血を起こして生命にかかわる危険もあるので、事前の治療が大切です。大動脈瘤の主な原因としては、動脈硬化などが挙げられます。動脈硬化が進んで血管の内壁が弱ると、動脈瘤が形成されやすくなります。

症状や身体の状態に応じて 治療法を使い分ける

従来の治療法は、胸腹部を開いて大動脈を人工血管に入れ替える人工血管置換術が主流でした。しかし最近では、ステントグラフト内挿術と呼ばれる治療が行われるようになってきました。ステントグラフト内挿術では、ステントと呼ばれるバネ状の金属を取り付けた人工血管を大動脈の患部に留置し、大動脈瘤に血液が流れ込むのを防ぎます。この方法だと、瘤は切除されず体内に残りますが、徐々に小さくなることで破裂を防ぎます。手術時間が短いうえ、開胸・開腹せずに行えるので身体にかかる負担が少ないのがステントグラフト内挿術の大きな特徴です。外科手術が難しい高齢者や重篤な患者への対応も可能となり、これまでは治療を諦めざるを得なかった人たちが新たな選択肢を得られるようになりました。

審査を通過した施設のみが 実施できるステントグラフト

ステントグラフトは高度な技術を要するため、治療を行うには十分な知識と経験が必要です。血管病に関連する医学会が合同して設立した日本ステントグラフト実施基準管理委員会は、この治療を安全かつ有効に導入するため、実施施設および実施医師に一定の審査基準を設けています。この審査基準は胸部と腹部に分かれており、審査基準や基準をクリアした実施施設の一覧は委員会のホームページで確認することができます。受診施設を選ぶ際には、これ



医療法人横浜柏堤会
戸塚共立第2病院

副院長 饗場 正宏

3学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定 心臓血管外科専門医

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町579-1

TEL.045-881-3205 <http://www.tk2-hospital.com/>

神奈川